

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施 自治体名	課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために 令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度にお ける取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現 状 の 数	単 位	本 年 度 の 目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)
38207大洲 市	②学校と地域 の課題	03 学校支援 ボランティアの 確保・育成	教育支援のボランティア人材の 確保が高齢化・固定化に伴い、 継続的にできるかどうか不透明 である。地域からのボランティ アを募集したが、人材が見つか らない。	各本部の地域コーディネーターが中心と なって、事業の周知や地域人材の募集方法 を工夫する。	学校が希望する支援と地域が協力できる支 援とのミスマッチングがないよう配慮すること を工夫する。	地域ボランティアを幅広く募集 し、人材確保に努める。	・ボランティアの延べ 人数 ・学校の授業支援が できた件数	10	校 区	13	10	03 本 年度 の目 標値を 達成 し、課 題の 改善 が見ら れた ・課題である地域ボランティア募集について地域コーディネ ーター参加対象の学校・家庭・地域連携推進事業連絡協議会 において情報共有・情報交換を行い、募集方法について「ど のようなボランティアが必要か明確にした募集方法に変更」 工夫を行った。 ・総合的な学習時間等の授業補助に地域人材を活用した活 動が増えたことにより、教員の負担軽減につながった。 ・引き続き地域人材の発掘につとめ授業補助の活動が広が るように、広報啓発活動にも力を入れていきたい。